



寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしですか？
今回、新製品がラインナップに加わりましたので紹介させていただきます。
どちらもそういえばここが痒かったなとばかりに手が届く、
そんな解説が出来ればなと思っております。

定番のメンテナンススタンドに、伸縮機能を追加しました！

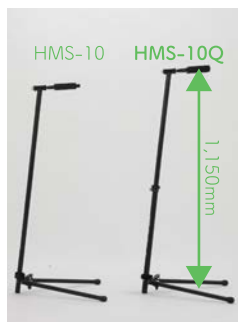


HMS-10Q (読み: エイチエムエス・テンキュー)

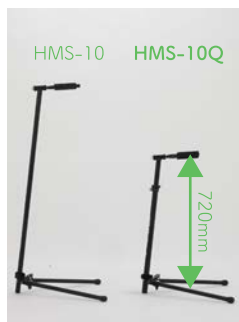
HMS シリーズは、サドルで後輪を持ち上げる「軽量メンテナンススタンド」です。

屋外での清掃やメンテナンスも気軽に始められるアイテムとして大変好評を頂いております。ただ、脚部を折りたためるといっても全長が長く、保管や持ち運びに意外と場所を取るという、ちょっと不便かな？と思う部分もありました。今回 HMS-10Q にバージョンアップし支柱が伸縮式になったことで、コンパクトに収納でき、持ち運びがしやすくなりました。この伸縮機能は車体や作業内容に合わせて調整でき、快適に使用できるようになっています！

支柱高を無段階 / ワンタッチで調整可能



MAX1150mm



MIN720mm

HMS-10 と比較してのサイズ比

持ち運びに便利



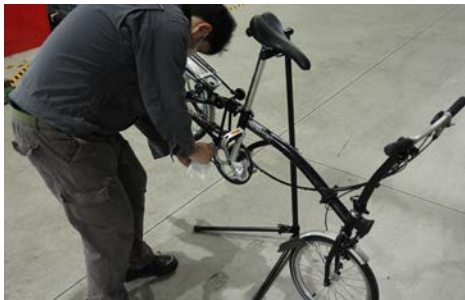
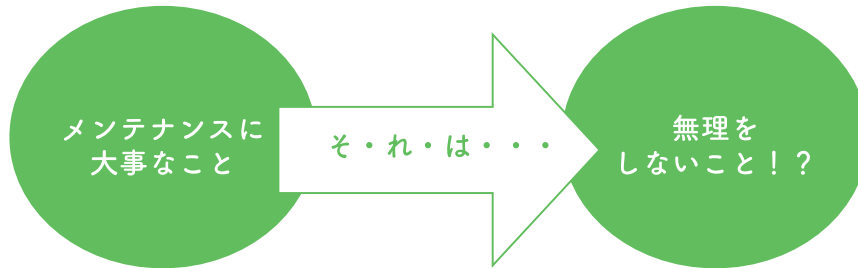
Brompton より少し背が高いくらいです。

今回の改良は「コンパクトになった」だけではありません。
日頃のメンテナンスで一番大事なのは、やはり無理をしない事だと思います。
無理な姿勢は作業の効率が落ちますし、見落としが生じるかもしれません。

せっかく自分の手で愛車を整備し綺麗にする楽しい時間を、
面倒だから苦痛だからと疎かにしてしまうのはとても悲しいことです。
また、無理な姿勢で作業を行うことは腰を痛めることに繋がります。
これだけはなんとしても防ぎたいものです（切実）

HMS-10Q は支柱の高さを調整する機能により、
「使用者に合わせて」車体の掛け方を調整できます。

ex. レース会場など： 支柱を高く伸ばして立ったまま作業する



U字フックを上げることで、
立ったままでも作業ができる



U字フックの位置を下げることで、
椅子に座ったり
地面に座って作業することができる



自分の車体に使えるスタンドは？という問い合わせの最終兵器です。
掛ける位置を工夫すれば、様々な体勢でも安定して掛けられます

既存モデルは支柱の高さが固定のためサドルを掛けることがメインでしたが、
HMS-10Q は高さが自在なので工夫次第でより使いやすくなります。

例えば16インチ車などの小径車ではサドルで掛けてもリアメカが
あまり持ち上がらないですが、フレームを受け支えてあげると作業しやすくなります。

DS-200



BB 受け支え型ディスプレイスタンド

昨今様々な形状の車体が出てきており、かつては「後輪軸を挟み込むスタンド（DS-30）ならどれでも使えますよ！」と紹介していたのが遠い昔となりました。とくにバイク後方フレームの形状は千差万別で、ハブ幅・軸の種類・ステー部分の形状・ディスクブレーキの有無などなど、様々な要因によって使えるものも使えないものもありと、ご紹介しづらいまさにスタンドの戦国時代です。

ミノウラにはかつて DS-20 という、ダウンチューブと BB をテコのように保持するスタンドがありました。取り付けの簡単さから、今でも再生産の要望があつたりします。しかし当時とは違いカーボンバイク全盛の昨今、極太ダウンチューブな車体もあつたりと、当時そのままの形状では対応できないことから、同製品をオマージュしたのが本モデル「DS-200」です。DS-200 は BB を下から受け支えており、車体後方の形状に因らず車体を保持することが出来ます。

華奢に見えるが安定感の高い形状

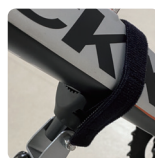


実は DS-30 シリーズと同じ脚幅があり、しっかり安定します。

傾きや揺れに対する装備



ハンドルが不意に切れた際のバランス崩れを防ぎます。



ベルクロバンドを使う事で減大な揺れでは倒れません。

シリコンバンドでカスタムするのもいいと思います！



主にフルサイズのオン&グラベルロードバイク用に設計しています。後輪を浮かせてコンパクトに、そしてスタイリッシュにディスプレイできるところが、このスタンドならではの点です。反面、フロントサス付 MTB やファットバイクなどのタイヤとダウンチューブとの間が広い車体や、特殊フレームの多い小径車では、載せて保持することが出来てもタイヤ受けは届かないかもしれません。



ボクの独断と偏見で紹介する
1台用ディスプレイスタンド!

おすすめポイント

OSSMP

※注意※

HMSシリーズ以外はディスプレイスタンドとして
企画・開発された製品です。
後輪を回転させられる商品もありますが、
メンテナンス用としては推奨しておりません。

ダウンチューブ下
保持タイプ

DS-200

広報ステーの形状や装備品に影響されない。掛けたときのシル
エットがすっきりしている。



汎用性 ○
後輪の回転 ○
ダウンチューブ下に
ツールBOXなどがあ
ると干渉してしま
すかも。フルサス車・
小径車はハンドルが
倒れてしまうかも?

シートステー/チェーンステー
保持タイプ

DS-534-600L

迷ったらコレ。安定性と汎用性
を高いレベルで兼ね揃える。



汎用性 ○
後輪の回転 ○
よほど取り付けられ
ないというのは聞い
たことがないが、上
下のステーで歪曲差
が大きいかかかれ
ないかも?

ハブ軸挟み込みタイプ

DS-30 シリーズ

クイック車なら迷わずこれ。
安価で最も薄く高張らない



汎用性 △
後輪の回転 ○
クイックレバーの形
状など、車体に合わ
せてモデルを選ぶ必
要がある。ハブ軸に
キャリアなどを取り
付けていると干渉す
るかも

タイヤ挟み込みタイプ

DSX-1

「ポンッ」と置くだけ。
手間がないのに安定感がある。
普段使いとして一番オススメ。



汎用性 ○
後輪の回転 ×
高張って重ねられ
ないモデル。タイヤや
スポークを挟みたく
ない人にはオススメ
しません

スピンドルタイプ

SPN-20

BBに孔があるなら、コレをオ
ススメします。コンパクトさも
安定性もファクトバイクにも対
応していて、すべてが理想的な
モデル。



汎用性 ×
後輪の回転 ○
クランク軸に孔が無
いと使えない
それだけ

チェーンステー保持タイプ

DS-40CS

オススメポイントは
載せるだけな所。
収納時のコンパクトさは、
DS-30シリーズと同じ



汎用性 ○
後輪の回転 △
がっしりと固定する
わけではなく、載せ
るだけのモデル
(DS-30シリーズ程
度の保持力はある)

シートステー・タイヤ
保持タイプ

DS-90TSF

調整不要でE-バイクも対応で
きる手軽さがオススメポイント。
座面が広く、安定性が高い
モデル



汎用性 ○
後輪の回転 ×
畳めるが、他モデル
よりは高張る
タイヤ(後輪)は回
せない

タイヤ受け・タイヤ吊り
タイプ

DS-2200

縦・横掛けができ、省スペース
になる。据え置き性能が高い。
各種サイズに対応できる汎用性
の高さがオススメ



汎用性 ○
後輪の回転 ×
他モデルよりサイズ
が大きい・お値段・
折りたたみなど考え
ず据え置いて使う
ならいいかも

サドル保持タイプ

HMS シリーズ

サドルがあれば使えるモデル。
ディスプレイスタンドではなく
ツールですが紹介します。



汎用性 ○
後輪の回転 ○
お値段が他に比べ
ると大仰すぎるかも
常設するには脚が張
り出している(車体
を掛ければ気にな
らないが...)

サイズや形状が様々な自転車が増えた今、お客様にとっての使い勝手も考えると、「絶対正解のスタンド」というのは紹介できません。今回のDS-200もきっと、対応できない自転車があるかもしれません。しかし、新たな選択肢が加わったことにより、今まで自分のバイクには使えない・イメージに合わないと思って諦めていた人に選択肢が増えたのではないのでしょうか。なにせ弊社だけでも色々な形態のスタンドがあります。ぜひご自身の自転車に合ったスタンドを見つけて、使って、快適な自転車ライフをお送りください。

MINOURN

〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮134-1
TEL (0584)27-3131 / FAX (0584)27-7505
www.minoura.jp / infodesk@minoura.jp